

平成 28 年度事業報告について

自 平成 28 年 1 月 1 日
至 平成 28 年 12 月 31 日

森林・緑への関心が高まり、県民参加の多様な森林づくりが進められている中、緑の募金活動を積極的に推進し、県及び市町村緑化推進委員会などと連携を図りながら、森林の整備・緑化の推進、花とみどりの少年団の育成、森林・緑の普及啓発などに取り組みました。

1. 緑化祭事業

(1) 第 68 回全国植樹祭プレ大会 第 17 回とやま森の祭典の開催

富山県での第 68 回全国植樹祭開催に向けた大会機運の醸成及び県民の緑化意識の高揚、県民参加の森づくりを一層推進するため、林業関係者、森林ボランティアなどを含む幅広い県民の参加を得て、富山県及び魚津市、第 68 回全国植樹祭富山県実行委員会との共催により、式典、表彰、植樹活動などを内容とする「第 68 回全国植樹祭プレ大会 第 17 回とやま森の祭典」を開催しました。

開 催 日	平成 28 年 5 月 22 日（日）
開 催 場 所	魚津桃山運動公園
参 加 者 数	3,000 人
内 容	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽、苗木配布、展示・販売、 県民参加の森づくりフェアなど

(2) 第 67 回全国植樹祭への参加

開 催 日	平成 28 年 6 月 5 日（日）
開 催 場 所	長野県長野市「長野市オリンピック記念アリーナ エムウエーブ」
富山県参加者	117 人

(3) 第 40 回全国育樹祭への参加

開 催 日	平成 28 年 10 月 9 日（日）
開 催 場 所	京都府南丹市「府民の森ひよし」
富山県参加者	22 人

2. 花とみどりの少年団活動推進事業

(1) 体験学習・リーダー研修の開催

① 第 33 回体験学習

自然の中での活動を通じて森林・緑の大切さを学ぶとともに、団員相互の交流と連帯を深め、人間性豊かな健康で明るい少年少女となることを目的に実施しました。

開 催 日	平成 28 年 7 月 26 日（火）～27 日（水）
開 催 場 所	立山町芦峯寺字前谷「国立立山青少年自然の家」
参 加 者 数	少年団員 140 人（6 団）、富山農林振興センター管内の少年団 引率者 12 人、指導者（県フォレストリーダー等）37 人、計 189 人

研 修 内 容	クラフト体験（木・竹笛づくり、木板フリークラフト）、森のふしぎ ○×クイズ、野外炊飯、キャンドルサービス、テント泊等
活動集の発行	平成28年度の少年団の主な活動及び体験学習に参加した団員の感想 文などを編集し発行しました。

② 第40回リーダー研修

各団が一堂に集い、活動発表大会や野外活動などを通じてリーダーとしての素養を高めることを目的に実施しました。

開 催 日	平成28年8月10日（水）
開 催 場 所	富山市西金屋字長尾「富山県呉羽青少年自然の家」
参 加 者 数	少年団員65人（16団）、引率者23人、指導者（県フォレストリーダー 一等）26人、計114人
研 修 内 容	活動発表（福岡花とみどりの少年団）、2016緑の少年団交流大会in 北海道への参加報告（上市花とみどりの少年団：平成28年度緑の少年 団活動発表大会において「みどりの奨励賞」（全国緑の少年団連盟会 長賞）を受賞）、森林体験ゲーム、葉っぱパズル、講話「とやまの森 の働き」 富山県森林政策課森づくり推進班 主幹 田島康次

(2) 地域活動の支援

小矢部花とみどりの少年団が平成28年11月1日に結成され、県内の少年団数は33団、
団員数は4,512名となりました。

- ・ 各少年団が、とやま森の祭典や体験学習等の行事に積極的に参加できるよう運営費を助成
しました。
- ・ 専門講師から花や緑化木の管理などについて学ぶ「花と緑の教室」の開催に助成しました
（今年度は新川・砺波農林振興センター管内の少年団）。
- ・ 全国植樹祭レイイベントなどにおいて、街頭募金を行う少年団を指導しました。
- ・ 全国植樹祭開催に向け、県下の全ての少年団に、団旗とポール、ポールカバーを新調し配
布するとともに、大会で使用する少年団の制服等を準備しました。
- ・ 新設の小矢部花とみどりの少年団に、スカーフなどの装備品を助成しました。

(3) 花とみどりの少年団連絡協議会への助成

県内の花とみどりの少年団で構成される「富山県花とみどりの少年団連絡協議会」の連絡・
調整及び少年団活動支援などの業務に対し、活動費の一部を助成しました。

3. 森づくり・緑化活動支援事業

(1) 森林・木材等普及啓発事業

① 緑の体験学習の開催

森林の働きや大切さの普及啓発を目的に、頼成の森・森林科学館と共催で実施しました。

名 称	開催日	開催場所	内 容	参加者数
緑に親しむ集い	5月4日 (みどりの日)	県民公園頼成の森	シイタケほだ木づくり、山菜 試食会、クイズラリーなど	142人

② 木工教室への助成

木材の良さの普及啓発を目的に、木工教室を行っている団体に対して助成しました。

名称	主催	開催日	開催場所	内容
とやま木と住まいフェア 2016	富山県木材組合連合会	10月15日	富山県木材研究所	親子で木工教室、木の遊具で遊ぶ、間伐材製品の展示など

③ 森林・緑普及広報

(公社) 国土緑化推進機構の広報誌「ぐりーん・もあ」や各種パンフレット類の配布等を通じて森林・緑の効用を普及啓発しました。

(2) 森林整備活動支援事業

下刈り、間伐等の森林整備を行う森づくりグループに助成しました。

団体名	実施日	実施場所	内容	参加者数
とやま森林づくりボランティアの会	10月8日 11月5日	富山市本宮大平割地内外	コナラ・スギ林等の枝打ち・下刈り、コナラ、クリ、クヌギの植栽	36人

(3) 学校環境緑化整備事業

青少年の環境教育の推進を目的に、株式会社ローソンの緑の募金をもとに、学校敷地内の緑化環境の整備を行う学校に助成しました。

実施校	内容	完成式典
射水市立堀岡小学校	キウイ棚、教室窓のグリーンウォール、ベンチの設置、小鳥の集う森づくり(巣箱の設置)	9月30日
富山市立四方小学校	ビオトープの設置、植樹(カシ、クヌギ、コナラ、ハンノキ、ソヨゴ、ナナカマド、ニシキギ)	10月6日

4. 緑の募金活動推進事業

平成7年6月に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、森林の整備や緑化の推進、緑化思想の高揚を図る目的で、春期(3月1日～5月31日)及び秋期(9月1日～10月31日)の緑の募金期間に、市町村緑化推進委員会などの協力を得て、募金趣意書や緑の羽根、リーフレットなどの募金資材を家庭、職場、企業、街頭などで配布し、広く県民から「緑の募金」を募りました。

特に、全国植樹祭開催機運醸成のため、理事、募金運営協議会委員、花とみどりの少年団等の協力を得て、各種イベントで全国植樹祭のPRと街頭募金を行いました。

また、緑の募金ポスターなどを県、市町村、企業などに配布すると共に、県内主要テレビ放送局に「緑の羽根」の着用を依頼するなど周知を図りました。

ダイレクトメールによる企業募金については、公益社団法人に移行したことによる法人税の優遇措置についての周知を図りました。

(1) 緑の募金実績

募金額は14,276千円であり、対前年比111%となりました。

主力は家庭募金で募金額の約66%を占めています。募金種類別の内訳は次のとおりです。

単位：千円、%

区分	家庭募金	街頭募金	職場募金	企業募金	計
H27	9,215	277	1,070	2,320	12,882
H28	9,352	448	1,780	2,696	14,276
構成比	66	3	12	19	100
前年比	101	162	166	116	111

(2) 緑の募金の使途

単位：千円、%

使途	緑化祭	花とみどりの少年団活動	森づくり・緑化活動支援	緑の募金活動推進	緑の募金緑化推進	緑化普及啓発	国土緑化推進機構交付金	合計
事業額	692	1,577	582	1,749	7,041	1,114	912	13,667
比率	5	12	4	13	51	8	7	100

※ 緑の募金実績と使途の差額は、次年度事業に充てることとしています。

5. 緑の募金緑化推進事業

(1) 地域緑化活動の推進

各市町村緑化推進委員会に対し、扱った緑の募金額の6割を上限に緑化推進事業費として配分し、地域における森林整備、緑化、花とみどりの少年団の育成等を支援しました。

(2) 緑化木配布事業

緑化思想の高揚と緑化の推進を図るため、次の緑化木配布事業を実施しました。

① 「第65回富山県をよくする会」表彰に際し、記念樹ツバキ19鉢を贈呈しました。

(主催者：富山県をよくする会)

② 「みどりの日」記念植樹として、小学校5校、中学校2校、特別支援学校2校に苗木127本と標柱を配布しました。

配布校	樹種	ドウダンツツジ	ハナミズキ	サザンカ	サクラ	サツキツツジ	その他	計(本)
富山市立西田地方小学校		4			2		6	12
富山市立藤ノ木小学校			2				10	12
滑川市立田中小学校		12						12
立山町立利田小学校						31	2	33
砺波市立庄川小学校		10					6	16
氷見市立西條中学校							10	10
小矢部市立東部中学校				18				18
富山県立富山総合支援学校					6		2	8
富山県立ふるさと支援学校			6					6
計		26	8	18	8	31	36	127

(3) 緑化推進団体活動支援事業

「2016 とやまの森づくりボランティアの集い」（併催 とやまの森づくりフェスタ：参加者約1,200人）を、とやまの森づくりサポートセンターと共催で実施しました。

開催日	開催場所	内 容	参加者数
9月17日	県民公園 太閤山ランド	広葉樹林の除伐、伐採木のチップ化等の森づくり活動	135人

6. 緑化普及啓発事業

緑化意識の高揚や緑化活動の推進を図るため、緑の募金を活用し、次の各種コンクール及び表彰を実施しました。

(1) 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの実施

県内の小、中、高等学校の児童・生徒を対象に募集し、審査委員会（田添等楊委員長他6名）を開催して優秀作品を選定しました。県教育委員会及び北日本新聞社の後援をいただきました。最優秀作品及び優秀賞と優良賞の中から11点（小学校6点、中学校4点、高等学校1点）を（公社）国土緑化推進機構のポスター原画コンクールに応募しました。

応募数 612点
 応募校数 76校
 入賞者 55人（最優秀賞1人、優秀賞9人、優良賞12人、入選15人、佳作18人）

■ 最優秀賞

富山県立富山北部高等学校 1年 高田 琉璃

■ 優 秀 賞

魚津市立道下小学校	1年	浅井 陽葵	富山市立興南中学校	2年	清涼 優希
魚津市立道下小学校	3年	西本 千優	入善町立入善西中学校	2年	亀田 青奈
南砺市立城端小学校	6年	成田 颯希	射水市立大門中学校	3年	稲積 真緒
入善町立入善西中学校	1年	草切 花楓	射水市立大門中学校	3年	藤田 亜弓
黒部市立高志野中学校	2年	野口 星奈			

(2) 国土緑化運動・育樹運動標語コンクールの実施

緑化を推進するポスターなどに使用する緑化推進標語を募集し、審査委員会（羽根由委員他3名）を開催して優秀作品を選定しました。北日本新聞社の共催をいただきました。

最優秀作品は、平成28年5月22日開催の「第68回全国植樹祭プレ大会 第17回とやま森の祭典」PR用標語として使用されました。また、最優秀賞、優秀賞、優良賞の上位10点を（公社）国土緑化推進機構の標語コンクールに応募しました。

応募数 707点（児童・生徒 637点、一般 70点）
 入賞者 50人（最優秀賞1人、優秀賞2人、優良賞7人、入選20人、佳作20人）

■ 最優秀賞

「たくさんの 緑かがやき 澄んだ水」 富山市 廣瀬 峯子

■ 優 秀 賞

「ここから始まる 未来の緑」 魚津市立松倉小学校 4年 高縁 楽

「ふるさとの 空までとどけ ぼくらの木」 南砺市立上平小学校 4年 長谷 純明

(3) 富山県育樹活動コンクールの実施

県と共催で、枝打ち、除間伐の育樹活動に努力し、優秀な成績を収めた者を審査しました。最優秀賞（知事賞）受賞者は、第 68 回全国植樹祭において表彰される予定です。

- 最優秀賞（知事賞） 1 者
- 優秀賞（理事長賞） 4 者

(4) 優良花とみどりの少年団表彰

模範となる活動をしている少年団を、第 17 回とやま森の祭典で表彰しました。

- 魚津花とみどりの少年団
- 上市花とみどりの少年団

(5) 森の名手・名人の選定

森に関わる優れた技能、技術を極め、他の模範となる人材を、（公社）国土緑化推進機構の「森の名手・名人」に推薦し選定されました。

- 森の恵み部門 シイタケ栽培 六田 敏夫（氷見市）

(6) 愛鳥ポスター原画コンクールの後援

平成 28 年度愛鳥ポスターの募集について、県及び県教育委員会の主催に後援しました。

- 応募点数 331 点
- 応募校数 28 校
- とやま緑化推進機構理事長賞 10 人

7. （公社）国土緑化推進機構への交付金

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」第 18 条の規定により、緑の募金による寄附金の一部を（公社）国土緑化推進機構へ交付しました。なお、募金額の 3%+50 万円を交付することになっています。